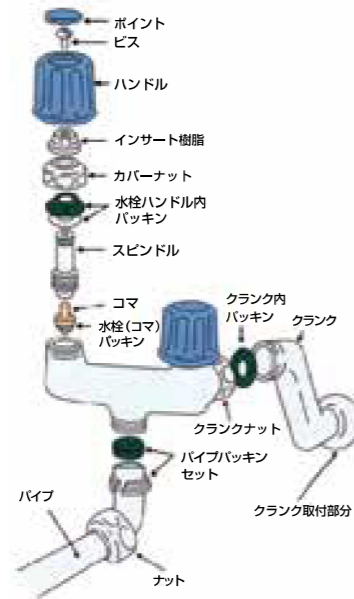


2. 混合水栓の不具合

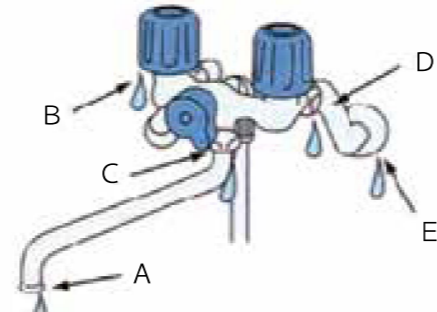
難しそうな混合水栓の修理。
やってみると…
アッ！、意外とカンタン！



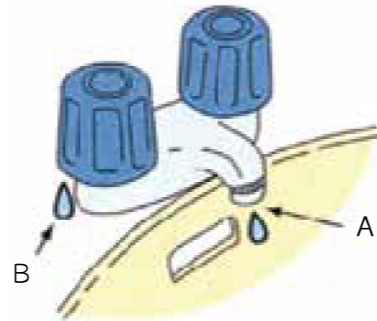
混合水栓分解図



異常箇所・状態

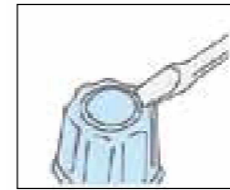


- A. ハンドルをしめてもポタポタ水がおちる。
B. ハンドル下より水がもれる。
C. パイプの付け根より水がもれる。
D. クランクナット部分より水がもれる。
E. 取り付け部分から水がもれる。

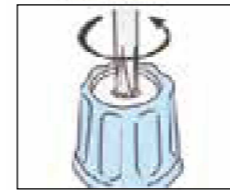


混合水栓の修理方法

異常箇所A (前ページ参照) からの水もれはコマパッキンを取り替えます。
※修理前に、お湯・水の元栓を必ずしめてください。



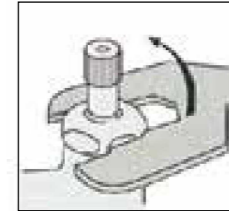
- ①ポイントを、マイナスドライバーかキリなどでこじるようにしてはずします。



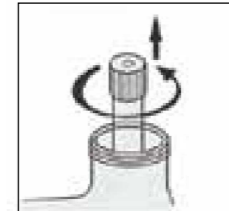
- ②ドライバーでビスをはずします。(サイズの合ったドライバーを使用し、固いときには一気にグッと力を入れて回します。)



- ③ハンドルを上引き抜き、インサート樹脂も同じように上引き抜いてください。(インサート樹脂がハンドルと一体化したものが多く、これはハンドルを抜くだけです。)



- ④カバーナットをゆるめてははずします。ハンドル下(前ページB)からの水もれがある場合は、このカバーナットの内側にある水栓ハンドル内パッキンを交換してください。



- ⑤次に、スピンドルを回しながら上に抜きとりますが、固いときはいったんはずしたインサート樹脂とハンドルをかぶせて回すと楽にはずせます。



- ⑥コマは本体に残っているので、コマツマミヤピンセットなどでつまみ出し、新しいコマやコマパッキンに交換します。

- ⑦交換後は以上の逆の手順で組み立ててください。

- 一般的な混合水栓について説明をしています。
- 現在市販されているシングルレバー等の混合水栓は精密にできていますので、修理は製造メーカー又は指定給水装置工事事業者へお問い合わせください。